

全校で取り組む省エネ・環境保全活動 4年間の歩み

- 1 自治体名 富山県
- 2 発表者名 上市町立上市中学校
- 3 活動名 「上市から世界へ発信 未来を築く小さな一歩」
- 4 活動期間 平成2004年4月～
- 5 活動場所 上市中学校および上市町内、県内、国内
- 6 活動参加人数 全校生徒約610名 4年間延べ約1,200名 県、町植樹担当者約10名
- 7 活動を始めた経緯

2004年度から、生徒会を中心に「地球環境を守るためにできること」をテーマに、国際理解学習及び省エネ学習を連携しながら環境教育を進め、その活動の場を家庭や地域へと広げている。世界に目を向けながらも、絶えず「今、自分たちにできること」は何かを考え、実践し続けている。

8 発表要旨



- 2004年 校庭の樹木のCO₂吸収量の調査
家庭での電気使用量調査、電化製品の使用電力量調査
江戸時代との比較
- 2005年 新聞社主催の環境活動に参加、熊の危機を実感
職場体験学習で第一次産業に参加
全校で、全家庭で省エネ活動に取り組む。(学校使用電気量前年度比2.7%減、家庭1軒あたりの省エネ効果、夏1,894円、冬3,411円。給食の平均残食率1.4%)
- 2006年 地元の山に植樹
校内・町内・県内・修学旅行先の東京での取り組みの発表
- 2007年 植樹活動の継続 ひまわりの種からバイオ燃料を作る取り組み開始